

令和7年度

「運営に関する計画」
(中間評価)

大阪市立西中島幼稚園
令和7年11月

大阪市立西中島幼稚園 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 本園の目標は「心身ともにたくましく、心豊かな子どもを育てる」、目指す子ども像は「明るく、元気な子ども」「考える子ども」「思いやりのある子ども」である。それを基に園内の身近な環境を通して、興味や関心をもち、好奇心や探求心が育まれるように教材研究を行い、環境を工夫し、心豊かに活動できるように教職員が連携して保育を進めていく。
- コロナ禍であったことも影響し、人との関わりが希薄な幼児が多く、自分の思いを通そうとする気持ちが見られる。自分のことも大切であるが、友達、家族、教職員、地域の方等様々な人のことを大切に思う気持ちが育つように教職員も一人一人の幼児の実態に応じて援助を行っていく。
- 幼稚園での幼児の姿や、育ちを保護者や地域の方、未就園児の保護者へ積極的に発信し、保育実践を伝え、公立幼稚園の保育をアピールしていく。

中期目標**【安心・安全な教育の推進】**

- 7 年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を 90 % 以上にする。
「幼稚園は、安全な生活ができるよう、子どもに必要な行動や態度を指導している」
- 7 年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を 90 % 以上にする。
「子どもは、自分も相手も大切にしようと思う気持ちが育っている」

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 7 年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を 90 % 以上にする。
「幼稚園は、遊びを中心に、実体験を大切にした教育活動に取り組んでいる」
- 7 年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を 90 % 以上にする。
「子どもは、身近な環境に関わって遊ぶことを楽しんでいる」
- 7 年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を 90 % 以上にする。
「幼稚園は、子どもに基本的生活習慣が身に付くような指導を行っている」

【学びを支える教育環境の充実】

- 7 年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を 90 % 以上にする。
「幼稚園は、子どもの興味や関心を高めるような指導を行っている」
- 7 年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を 90 % 以上にする。
「幼稚園は、子どもの様子や教育活動について分かりやすく伝えている」

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安心・安全な教育の推進】

- 今年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を90%以上にする。
「幼稚園は、安全な生活ができるよう、子どもに必要な行動や態度を指導している」
- 今年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を90%以上にする。
「子どもは、自分も相手も大切にしようと思う気持ちが育っている」

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 今年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を90%以上にする。
「幼稚園は、遊びを中心に、実体験を大切にした教育活動に取り組んでいる」
- 今年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を90%以上にする。
「子どもは、身近な環境に関わって遊ぶことを楽しんでいる」
- 今年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を90%以上にする。
「幼稚園は、子どもに基本的生活習慣が身に付くような指導を行っている」

【学びを支える教育環境の充実】

- 今年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を90%以上にする。
「幼稚園は、子どもの興味や関心を高めるような指導を行っている」
- 今年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を90%以上にする。
「幼稚園は、子どもの様子や教育活動について分かりやすく伝えている」

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立西中島幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安心・安全な教育の推進】	
学校の年度目標	
○今年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を90%以上にする。 「幼稚園は安全な生活ができるよう、子どもに必要な行動や態度を指導している」	
○今年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を90%以上にする。 「子どもは、自分も相手も大切にしようと思う気持ちが育っている」	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【安全・安心な教育環境の充実】 安全に対する話し合いや指導、避難訓練を行い、自分の身を自分で守ろうとする気持ちを育む。	B
指標 • 関係諸機関と連携した避難訓練や交通安全指導を2回以上行う。 • 学校安全計画に基づき、安全に対する話し合いや、指導の機会を月2回以上設ける。	
取組内容② 【豊かな心の育成】	
幼児一人一人の実態に応じた援助を行う。	
指標 • 園内委員会を月1回以上実施し、子どもの実態把握や援助について話し合う。 • 関係諸機関と連携するとともに、年に1回以上教職員が研修会に参加する。 • 保育にユニバーサルデザインを取り入れるよう年3回以上話し合いの場をもち、改善を行う。	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①			
• 年間計画に基づき避難訓練や安全指導を以下の通り実施した。			
月	想定	ねらい	子どもの姿
4月	火災	避難訓練の意味を知る 避難の仕方を知る	4・5歳児は、非常ベルを聞き、落ち着いて避難していた。3歳児は実際に避難する姿を見て、避難訓練のイメージをもつことができた。
5月	火災	火災から身を守る方法を知る 放送や指示を聞き安全に避難する	「お・は・し・も」のルールを守り安全に避難できた。 3歳児は、初めての避難訓練であったが、教師とともに落ち着いて参加できた。
6月	地震	地震の時の身の守り方や避難の仕方を知る	防災頭巾を被ることに手間取る子どももいたが、教師の指示を聞き、落ち着いて避難できていた。
7月	防犯指導	不審者が侵入した時の合図を知る	紙芝居を通して、知らない人にはついていかないことや実際に幼稚園に不審者が侵入してきた時の合言

			葉を知ることができた。
	交通 安全	正しい交通ルールを知 る	信号に関心をもち、どのように横断歩道を渡るのか を理解して渡っていた。
8月	地震	指示を静かに聞き、近 くの教師のところへ集 まる	「お・は・し・も」の約束を守り、保育室が異なる 場合でも落ち着いて安全に避難できた。
9月	引き渡し 訓練	保護者への引き渡しを 行う	普段とは異なる降園方法であったが、子どもたちは 落ち着いて保護者を待ち、保護者も真剣に対応され ていた。
10月	火災 消防署立 ち合い	戸外で遊んでいる時を 想定して行う 消防署より防災指導を 受け、教職員も子ども も防犯意識を高める	消防車だけでなく、車内に積まれている器具にも関 心をもち、質問をする姿が見られた。指示を聞いて 落ち着いて行動することができた。

- ・1学期の終業式に淀川警察の方をお招きし、子どもたちには、信号機を使った実技を交えながら交通安全についてお話をいただいた。また、保護者の方には、ヘルメット着用の大切さや、子どもの目線・視野が大人に比べて狭いことなどについても講話していただいた。降園時に教えてもらったことを生かして横断歩道で右左を確認して降園する姿があった。
- ・学校安全計画を活用し、子どもの実態に応じて園庭での遊具の遊び方や製作時の用具の使い方などを指導してきた。園庭の遊具の使い方について保護者にも啓発したため、園庭開放時にも意識して遊ぶ姿が見られる。
- ・消防署や警察など専門の方に来ていただいたことで教師の安全意識を高めることにつながった。

取組内容②

- ・外部講師を招いて園内委員会を実施し、個々の援助の在り方について全教員で話し合う時間もつことができ、共通理解につながった。
- ・特別な支援を必要としている子どもだけでなく、教師が個々に寄り添った支援を行うことで、子ども達同士で自然に声をかけあい、活動に誘う姿も見られるようになってきた。
- ・個人懇談などを活用し、保護者と個々の実態について共通理解することができた。必要に応じて、区役所や学校関係とも連携を進めている。
- ・各クラス、写真や絵、ペーパーサートなどを使い、視覚的にわかりやすいように表示を工夫することで、配慮を要する子どもだけでなく、クラス全体の子どもたちに有効であった。

今後への改善点

取組内容①

- ・周りを見ずに怪我をすることも多いため、周りを見るなどを知らせていく。廊下を走らないことやはさみの片付ける際の持ち方などは、子どもたちに定着するように引き続き指導していくたい。また、今後も学校安全計画を活用し、その時期に必要な指導に努めていきたい。

取組内容②

- ・日常的に職員間で情報共有しているが、今後は職員会議等の時間を活用して、定期的に話し合う時間ももてるように努める。
- ・今後も引き続き保護者や関係諸機関と連携しながら、個々の実態に沿った援助を行うとともに、教職員が特別支援教育に関する研修を受けることで理解を深められるようにする。
- ・引き続きユニバーサルデザインを取り入れ、誰にでもわかりやすい保育環境や指導の工夫を行うとともに、積極的に話し合いの場をもつように努める。

大阪市立西中島幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】	
<p>学校園の年度目標</p> <p>○今年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を90%以上にする。 「幼稚園は、遊びを中心に、実体験を大切にした教育活動に取り組んでいる」</p> <p>○今年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を90%以上にする。 「子どもは、身近な環境に関わって遊ぶことを楽しんでいる」</p> <p>○今年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を90%以上にする。 「幼稚園は、子どもに基本的生活習慣が身に付くような指導をしている」</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【幼児教育の推進と質の向上】 幼児の興味や関心、発達を捉え、実体験を基に遊びを中心とした保育実践を行う。 (就学前教育カリキュラムの活用)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週、幼稚園教育要領や就学前教育カリキュラムを活用し、教育的意図をもった働きかけを意識し、週案を立て、保育実践を行う。 ・月に1回以上、教師間で保育を振り返り、幼児の育ちを明確にしたり、今後の育ちの見通しをもったりする。 	B
<p>取組内容②【幼児教育の推進と質の向上】 身近な環境に関わって遊ぶことを楽しむ幼児を育めるよう、環境や働きかけを工夫しながら幼児理解を深める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の好奇心や探究心が育まれるよう年10回以上教材研究を行い、環境を工夫する。 ・実践記録の検討会を年5回以上行い、幼児理解を深め、教師の資質向上を図る。 	B
<p>取組内容③【健やかな体の育成】 健康な生活習慣を知り、身に付くようにする。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の実態や時期に応じた保健指導を月1回実施する。 ・年3回以上保健指導の内容や幼児の様子を保護者に啓発する。 	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週案や研究保育指導案作成時に、就学前教育カリキュラムを活用することで、保育のねらいや内容を明確にし見通しをもつことにつながった。また、クラスだよりなど保護者向けの手紙を作る際にも活用することで子どもの育ちや保育のねらいなどをわかりやすく伝えられている。 ・研究保育に向けて子どもの実態や今後の遊びの見通しなどを教師間で話し合って進めることができ、保育の充実につながった。 ・就学前教育カリキュラムの研修会に参加し、教師間で伝達している。 <p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を大切にしながら遊びを楽しめるように、色水、泡、水鉄砲、小麦粉粘土、虫探し、泥の遊びについての教材研究を行い、子どもの興味・関心が深まるように環境を工夫した。 ・2学期には園内で芋ほりをした後のツルを活用して、縄引きや縄遊び、リースづくりをしたり、園外保育で見つけたドングリをままごと遊びに取り入れたりして、秋の自然についても教材研究

を行った。

- ・5月と7月10月に実践記録の検討会を行い、幼児の姿について話し合ったり、読み取ったりすることで幼児理解を深めることができた。

取組内容③

- ・幼児の実態や時期に応じて、手洗いうがいや歯みがき、けがの予防について保健指導を行った。塗り絵を作成し、幼児が色を塗り、完成したポスターを保育室に掲示することで継続して取り組む姿が見られた。
- ・体重測定時以外にも時期やタイミングをとらえ、歯や風邪予防についての保健指導を行った。
- ・保健だよりやホームページで保健指導内容を知らせ、家庭での継続した取組を呼びかけた。

今後への改善点

取組内容①

- ・行事に向けての保育の進め方などを教師間で連携できるように行事予定表に書き込み、日を設定する。
- ・就学前教育カリキュラムのみでなく、参考教育課程や教育要領も活用し、取り入れていく。

取組内容②

- ・自然環境以外の教材研究（造形活動や運動など）にも努めていく。
- ・実践記録だけでなく、ドキュメンテーションの実践についても検討会を行う。

取組内容③

- ・保健指導実施した日の降園時に家庭で実施するポイントを添えて、保護者に指導内容を伝える。

大阪市立西中島幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 学校園の年度目標 ○今年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を90%以上にする。 「幼稚園は、子どもの興味や関心を高めるような指導を行っている」 ○今年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする保護者の割合を90%以上にする。 「幼稚園は、子どもの様子や教育活動について分かりやすく伝えている」	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教員の資質向上を図り、実践につなげる。	B
指標 ・年間計画を立て、園内研究会を年5回以上行う。 ・保育内容について、月1回話し合い、共通理解したり学び合ったりする。	
取組内容②【家庭・地域等との連携・協働した教育の推進】 幼児の育ちや教育活動について、保護者や地域に発信する。	B
指標 ・幼児の育ちや教育内容について、写真や掲示物等を活用しながら、保護者に年10回以上発信する。 ・園の活動の様子や、教育内容、未就園児活動について、地域にホームページを活用して年20回以上発信する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容① ・1学期は研究部の研究保育を本園で行い、園全体で保育内容や環境構成について話し合う機会を多くもつことができた。また、他園の先生方や小学校の先生方から多くのご意見をいただき、学びを深めることができた。 ・年間計画に沿って9月に園内研究保育を行った。意見交換をし、各教員が資質向上に努めた。 ・行事の内容や各クラスの遊びについて月1回話し合い、共通理解をした。	
取組内容② ・保護者に向けて、各クラス、写真を用いたポートフォリオを月に1回作成し、月末の保育室降園の際にはそれを用いて、幼児の育ちや教育内容について発信することができた。また、運動会のときには、前日に保育室降園を行い、運動会に向けた取り組みやそれらの中での子どもの成長について、保護者に伝えることができた。 ・地域に向けて、ホームページに園の活動の様子や教育内容、未就園児活動について、80回以上発信することができた。	
今後への改善点	
取組内容① ・園だよりや行事予定表にも園内研究会の日程を入れ、実施していく。 ・計画的に話し合いができるよう、話し合いの日程を決めて、行事予定表に書き入れる。	
取組内容② ・今後も教職員一人ひとりが、幼児の育ちや教育内容について、ホームページやポートフォリオを活用しながら、保護者や地域に向けた発信に主体的に取り組んでいく。 ・行事が忙しくなってくるとホームページの更新が滞るので、係が声をかけて、皆で意識して取り組めるようにする。	

